

11月は「ココロねっこ運動強調月間」です。

「ココロねっこ運動」とは、子どもの心根を育てるために、地域の大人が一丸となって取り組む運動です。学校ではあいさつ運動、授業での地域人材の活用、毎月第3日曜日「家庭の日」などを通して大人のとの交流から子どもたちの心を育てています。

校長だより（R2.11/13：金 配信）

その54「あいさつ運動（2年1組）」（11/2：月～6：金）

2年1組の保護者の皆さん、生徒の皆さんありがとうございました。
次回は2年2組（12/1～7）です。よろしくお願いします。



その55「研究授業（1年1組社会科）」（11/2：月）＊ICTを活用した分かる授業の実施



本校では、早くから電子黒板とタブレットパソコンを活用した授業を実践し、効果的な活用の仕方について研究に取り組んでいます。全ての学習を電子化するものではありません。これらの機器は、①生徒が個人の意見を考える場面でタブレットパソコンに入力したり、②考えた意見を学級全員で見比べる場面で電子黒板に提示したりするなど、学習活動を効率よく進めることで、授業内容を生徒に理解しやすくすることが目的です。

機械はあくまでも道具であり、定規やコンパスと同じ存在です。学習活動の土台となるものは、②の写真のようにこれまで通り黒板を主に、必ずノートやプリントに「書き記す」ことだと考えます。

その56「期末試験」（11/11：水～13：金）

ICTが進んでも、やはり試験は「紙」です。筆記用具で自分の知識や考え、解答を文字にして表すことは、いつまでも大切な「力」です。引退したとある芸能人が語ったことが私の心に強く残っています。「勉強することは人生を豊かにすること。」

学生のうちは、教科書を中心に勉強をします。保護者の方々もお分かりのとおり、社会に出たら教科書がなくても、様々な「学び（勉強または習得）」が必要です。知識を持っていること、技術や資格をもっていること、考える力をもっていること、それらを使って答えを出すための方法を知っていることなど、学んで身につけた能力は、自分自身により良い生き方をもたらしてくれるものと思います。物事について「知らない」よりも「知っている」ほうが、良い答えを導き出してくれます。



その57「キャプテン会」（11/13：金）

各部活動が2年生を中心に新人大会等を経て、来年度の中体連に向けてチーム力を高めているところです。キャプテン同士が、それぞれの努力事項や課題を共有することで、互いに支え合い、同じチーム東彼杵中として更に高まっていくことを期待しています。



その58「長崎県中学校総合文化祭に向けて（生徒会本部役員による本町紹介映像の制作）」（11/13：金）

来年11月18・19日にグリーンハートホールを会場に県中文祭が開催されます。今日は、次期開催地として本町の紹介映像を作成しました。構成とナレーションを本部役員で、動画編集を2人のALTが担当しました。中文連本部WEBサイトで公開する計画です。

その59「坂本浮立」（11/13：金）

1年生の「地域伝統芸能学習」として、伝承者の方にご来校いただき、体験学習を行いました。笛が奏でる360年前から受け継がれている音色を、目を閉じて、耳を通して、心で聴きました。日差しの中で幻想的な雰囲気になりました。古き良き伝統文化を学ぶことで、ふるさとを大事に想う心を持った生徒に育てていきます。

